

和泉教文第324号

令和8年6月16日

朝日新聞社 大阪社会部長 様

和泉市教育委員会生涯学習部

文化遺産活用課長 森下 徹

(公 印 省 略)

貴紙報道に関する申し入れ

令和8年5月19日付貴紙朝刊に、黒田陸離、西崎啓太郎両記者による「埋められた樹木11トン、壊された遺跡」と題する記事が掲載されました。

本記事について、市が貴紙の取材時に説明した内容が十分に反映されておらず、読者に市に対する誤解を与えかねない点が懸念されるため、貴紙の報道姿勢に対し、遺憾の意を表させていただきます。

同記事では、捜査関係者の話として、「市側がサーカス団にどのような指示や注意をしたかの記録が残っていなかった」と報じられています。しかし、貴紙からの取材の過程で、市は貴紙に対し、市とサーカス団元代表の間で土地の形質変更や木の処分に関する協定書や指示書などの文書が存在し、警察にも証拠として提出済みであることを説明いたしました。これらの文書は、サーカス団への具体的な指示や注意を明記したものです。

また、サーカス団元代表の話として「大事な物が下に埋まっているとは知らされていなかった」と報じられておりますが、この点についても、市は貴紙に対し、テント設置に伴う国史跡の現状変更手続きのため、地中に打ち込むペグの長さや角度などについてサーカス団と協議を重ねて準備を進めた経緯があることをお伝えしておりました。加えて、この場所が国史跡であり、地下に重要な遺構が存在することについても、協議の場で明確に伝えており、サーカス団元代表がその事実を知らなかったとは考えにくい状況です。

しかしながら、市が提供したこれらの事実や証拠が記事中に十分に反映されず、一部関係者の発言が強調された形で掲載されたことは、事実関係の全体像を正確に伝える上で、読者に誤解を与える可能性があり、誠に遺憾であります。

これは、公共の情報を伝える新聞報道として、公正性、客観性の観点から、改善の余地があるのではないかと懸念しております。貴紙におかれましては、今後、事実に基づく、公正かつ客観的な報道姿勢について、改めてご配慮いただけますようお願い申し上げます。

担 当:和泉市教育委員会生涯学習部
文化遺産活用課 森下 徹
連絡先:0725-99-8163